

「研究発表 I」

学校名 県立逗葉高等学校 P T A

研究テーマ 「やる気！元気！勇気！！そして最後に大丈夫。のフォローができる P T A」

1 はじめに

「やる気！元気！逗葉高校」のスローガンのもとで体育祭や文化祭をはじめと様々な行事に参加する元気のいい生徒を見守りながら、無理なく各自が楽しみながら活動しています。

2 学校紹介

本校は緑豊かな桜山丘陵に位置しています。桜の木々に囲まれた坂道を上がった先に希望の学び舎が現れます。逗葉高校の校章である桜をかたどった5枚の花弁は、5つの教育方針

1. 楽しく明るい学校づくり
2. 勉学の習慣化
3. 新進の健康の増進
4. 豊かな情操を培う
5. 能力適正の伸長をはかる

の実践を表し、中の3つの波浪は教育目標の知・徳・体の調和的発達を示しています。

生徒総数は940名を数え、昨年度までの卒業生総数は12,946名となりました。個性的な現代通俗文学研究部をはじめ、IT社会には欠かせないアプリ・プログラミング同好会等の文化部が8、仲間と一緒に全力を尽くす運動部が11活動しています。OBにはお笑い芸人ネプチューンの堀内健さん、現在はベルギー・KRCヘンクに所属するサッカー選手の伊藤純也さん等著名人を多数輩出しています。

本校は令和5年4月に県立逗子高校と再編・統合し、逗葉高校の地で新校となります。それまでは逗葉生として目標に向かって邁進し、新校開校後は両校の思いと伝統を受け継ぎながら、生徒は新しい時代に力強く飛躍することでしょう。

3 P T A紹介

【運営委員会】

会長1名・会長2名・総務2名・会計2名の7名、学校長をはじめとする教職員、常置委員会の委員長・副委員長で構成されています。思ったことは何でも言える和気あいあいとした非常に風通しのいい委員会です。定例会は毎月1回です。

【学年委員会】

学校行事であるスポーツ大会・駅伝大会での飲み物等の提供を行っています。文化祭への出店では、毎年大好評！売り切れごめんのメンチカツパンやコロケパンを販売しました。また P T A 総会の準備・進行を担当しています。ご来場の際は是非ご賞味ください。定例会は毎月1回です。

【成人委員会】

P T A 行事の企画を行っています。本年夏にはストレス解消を目的としたボクササイズ講習会を開催しました。秋にはお徳感満載な豪華昼食付の抱腹絶倒お笑い見学バスツアーを行いました。年度末には茶話会を開催します。定例会は毎月1回です。

【広報委員会】

学校行事を取材・撮影し、興味がわく紙面づくりをモットーに、年3回広報誌「逗葉」を発刊しています。広報委員会のいいところは、我が子の活動を最も近い位置で撮影できることです。定例会は毎月1回ですが、入稿等で最も学校に来る機会が多い委員会です。

【交通安全委員会】

年1回のあいさつ運動のほか、信号を覆い隠す生垣や歩道の状況を確認する通学路点検を行っています。今年の文化祭では、生徒から募集した標語をうまい棒に貼り、来場者に配りました。きっとお腹にも気持ちにも残るお土産になったことでしょう。定例会は毎月1回です。

【環境委員会】

近年の酷暑では人だけでなく植物も喉が渇いてしまいます。そんな時は環境委員会の出番！プランターの水やりや手入れを行っています。文化祭では、来場者の心に花を咲かせる鉢植えを販売します。冬を過ごした逗子海岸には、多数の漂着物が打ち上げられています。本校の生徒は年1回海岸清掃を行い、湘南の夏を迎えます。

夏の逗子海岸はサイコーです！

4 最後に

一般的にPTA活動は「辛い」と言われます。その原因は「やらされる」の一言に尽きるのではないのでしょうか。PTA活動は「自分たちは楽しめる」活動でなければ続きません。では、どのように楽しむか・・・ちょっと自分を表現してみましょう。例えば、ボケ上手、ツッコみ上手、力持ち、聞き上手、そう！気が付きましたね！

ペップトークです。

楽しさは「やる気！」につながり、やる気は周囲を「元気！」にします。やる気、元気があれば新しいアイデアが浮かぶことでしょう。「勇気！」をもって言葉にしましょう。風通しのいいPTAであれば、受け入れてくれるはずですよ。PTAも失敗しながら成長すればいいのではないのでしょうか。失敗は成功の基なのです。そしてそこには大黒柱の会長がいます。きっと「大丈夫」とフォローしてくれるに違いありません。

学校や地域と連帯感を持ち、親同士の一体感を感じながら「PTAって楽しいですね！」そんな逗葉高校PTAにしていきたいと思います。

【質疑応答】

Q. 逗葉祭で交通標語を貼ったうまい棒を配布との話がありましたが、これはタダで配ったのですか？

A. 無料で配りました。

今年はチーズ味を1,500本用意し、生徒にも手伝ってもらい標語を貼りました。

来年はいろいろな味のうまい棒を用意したいと思います。

【助言者講評】

県立追浜高等学校 副校長 西ヶ谷克彦

○発表からすごいパワーを感じました。PTA活動というのは、こういったお父さんお母さんたちの気持ちの中で培われていくんだと改めて思いました。準備も大変だったと思います。発表が終わったあとに「よかったよね」と言い合える、次に繋がっていくいい経験になったのではないのでしょうか。

○タイムカプセル、海岸清掃、茶話会、標語入りお菓子・・・かなりさらっと会長は話していましたが、具体的にどんなふうに行っているんだろうと興味をそえられるものでした。一つ一つ語ってくれば全国のPTAの皆さんの参考になるのにベールに包んだかたちでの発表でした。

○でもそれはタイトルにつながっていくもので、やる気！と元気！は生徒たちの言葉、勇気！！そして最後に大丈夫はPTAが加えた言葉。外野から言われるよりも近くで支えてくれる人がやる気、元気をだして頑張るね！と背中を押して、どんな結果が出ても大丈夫とフォローしてくれることが高校生にとっては大事なことで心に響く、次に繋がるんだと思います。

○会長が、全部に色の濃さを出さないで発表することで、行事の中で生徒と学校というものを考えながらPTAが頑張っているのが垣間見えるようでした。とにかく、最後にフォローができるPTAであり、フォローが心に残る形で行事が組み立てられている。

いろんなことを聞いてみたくなる、自分たちの学校のPTA活動を振り返らせてくれるような発表だったと思います。

